

県ブランド畜産物「彩の国地鶏タマシャモ」の改良

1 「彩の国地鶏タマシャモ」について

「タマシャモ」は埼玉県特産の地鶏で、昭和 59 年に埼玉県養鶏試験場（現農業技術研究センター）で原種を作出しました。その作出には、大型で肉質が優れた大シャモ、産卵性が優れたニューハンプシャー、胸の厚みがある大和軍鶏を使用し、大シャモ譲りの肉質の良さと、大和軍鶏譲りの重厚な体型を有しています。

流通している「彩の国地鶏タマシャモ」は、このタマシャモ原種（雄）にロードアイランドレッド（以下ロード）（雌）を交配して種鶏（雌）とし、これにさらにタマシャモ原種（雄）を交配させたものです（図 1）。平成 3 年に完成して以来、県内の生産者へ供給しています。その肉は埼玉県及び東京都内の飲食店やホテルなどで利用され、ベースとなったシャモの特徴を色濃く反映したプリプリとした歯応えや濃厚なうま味には定評があります。

2 タマシャモの改良

タマシャモは、作出から 30 年以上が経過し、限られた原種集団の中で血縁が濃くなってきていることから、平成 27 年度から次のような方法で原種及び種鶏の改良に取り組んでいます。

（1）他系統の交配

独立行政法人・家畜改良センターから増体・肉質が優れた純系シャモ 831 系統（以下 831 系統）及び産卵性が優れたロードを導入し、タマシャモ原種と従来から飼育しているロードにそれぞれ交配しています（図 1）。

（2）遺伝子情報を活用した改良

近年、鶏の改良にも遺伝子情報に基づく選抜・交配の技術が利用されるようになってきました。本県でも平成 28 年度からこの技術をタマシャモの改良に取り入れています。選抜の対象とした遺伝子は、①体の大きさ（増体）に関与するもの 1 種と、②肉の美味しさ（食味）に関与するもの 3 種で、いずれも血液検査で識別できます。交配して生まれた個体ごとにこれらの遺伝子の型を調べ、その結果に基づいて選抜を実施しています。選抜した優良な個体をさらに交配することで新しいタマシャモ原種及び種鶏を作り上げます。

3 今後に向けて

増体の向上により生産性を高め、美味しさをさらにアップさせた次世代「彩の国地鶏タマシャモ」の早期完成を目指します。

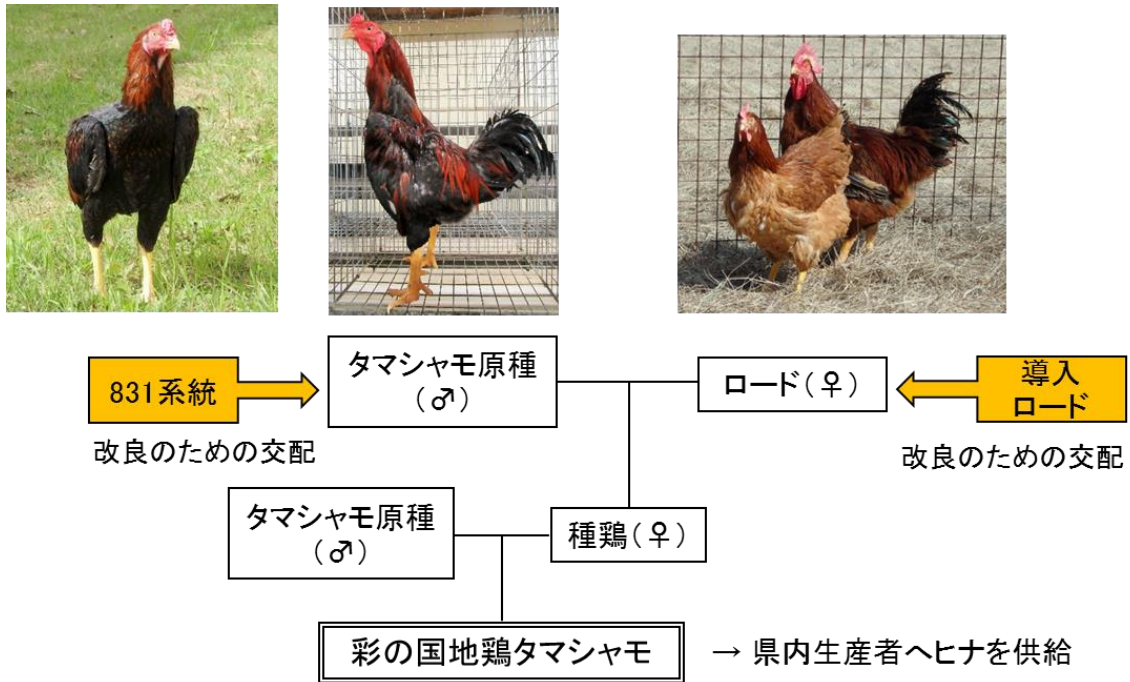


図1 彩の国地鶏タマシャモの交配図

【問い合わせ先】

埼玉県農業技術研究センター 養豚・養鶏担当
 電話：048-536-0440 FAX 048-536-7019